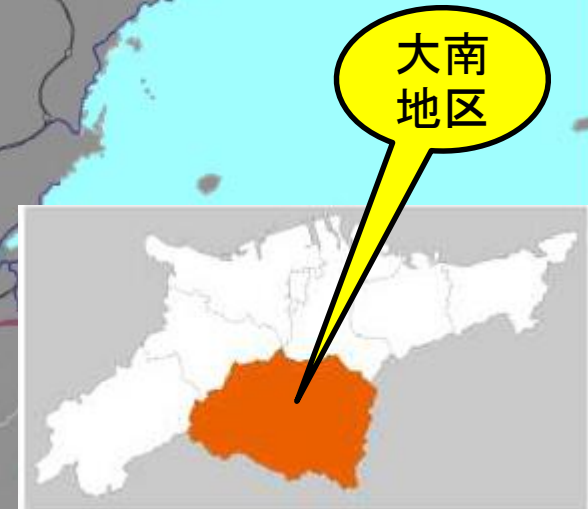
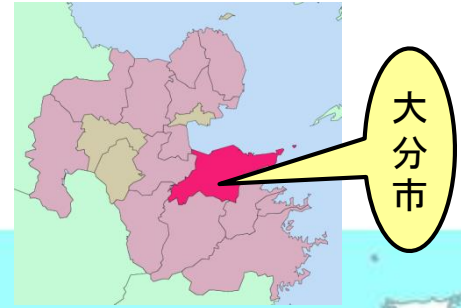


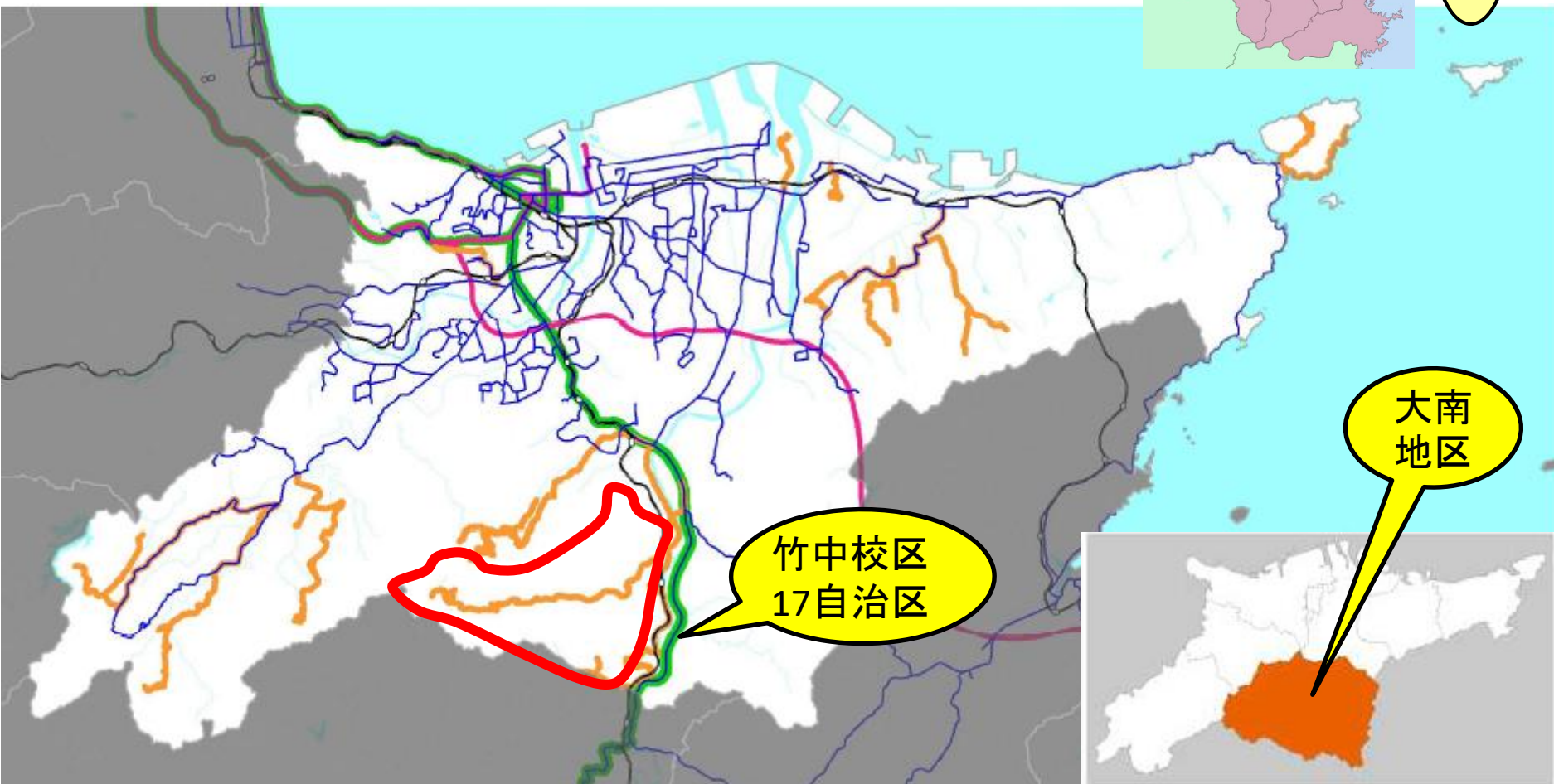
竹中校区位置図

(竹中・端登・河原内・安藤17自治区)



竹中校区
17自治区

This callout bubble points to the school district, which is outlined in red on the main map. The text inside the bubble identifies it as the '竹中校区 17自治区' (Takekane Campus 17 Autonomous Districts).



竹中地区の現状

673世帯

全人口1,303名

65歳以上高齢者

695名

高齢化率

53,5%

(令和4年2月末現在)

空き家の増加

高齢化・過疎化の進展が止まらない



市の水道も届いてない地区もある

ケーブルテレビも見れない

竹中地区の現状



自然あふれる憩いの里
昔ながらの良さが残る
お互いの絆は深い



頑張る力は、負けない
人たちが多くいる。



そんな地域に住む「私」

防災士になって最初に取り組んだこと

H22, 5月

自治区住民の防災意識向上に向けて
元大分大学 山崎 栄一 先生を招致
災害図上訓練・街歩きで、意識づけ。



マイハザードマップの作成
中竹中自主防災会の組織化

校区としての取り組み

H 27年度・28年度

- 校区自治連合会、各種団体役員
「避難行動要支援者」研修会 2回
- 個別計画研修会 9自治区で実施
「防災講話」
「応急手当訓練 要支援者補助の仕方」
清静園 吉田 亨 指導員
- 防災士全員対象
災害図上訓練の進め方研修会

防災士協議会発足の経緯

H28年4月

校区自治連合会、校区社協、校区民児協
各種団体総意で、

「竹中地区地域づくり協議会」発足

防災・防犯部会実行委員会として

平成29年2月26日

「竹中地区自主防災会合同総合防災訓練」



会長1名 副会長2名、事務局長1名

会員 14名 消防団 2名

H29, 4月「竹中校区防災士連絡協議会」

竹中地区過去の主な災害

- 昭和16年 前線豪雨
- 昭和18年 台風12号
- 平成5年 竹田大水害
- 平成29年 台風18号

大野川流域 (竹中、冬田、端登地区)

河原内川流域 (三友、高城、中野地区)

橋流失、ガケ崩れ、道路・田畑の冠水

- 大雪による災害 (積雪約40センチ)

平成26年2月 檜原地区 12戸

約1週間孤立

昭和16年豊肥線列車転落事故

10月1日 連日の豪雨で橋脚が洗われ通りかかった
列車が河原内川に転落 死者 44名



平成28年台風28号 大野川



平成28年台風18号 大野川氾濫の状況



河原内川の氾濫



避難所・避難場所

竹中小・中学校、 上戸次小学校

3箇所 (市指定避難所)

各集落が4つの川筋に集中

急傾斜地崩壊・地すべり・ガケくずれ、
洪水危険等



- 指定避難所までは遠くて、行けない。
- 各自治区で避難場所を設定してても危険を感じて動けない。

事前避難が可能な場所 高齢者が安心できる所

清静園



校区指定避難場所の確保

社会福祉法人 一志会 「清静園」

校区自治連合会 折衝を依頼

・H30年 9月 避難協定書 締結

・運営協議会の設置

会長 清静園理事代表者

委員 園理事長・施設長・管理者

介護保険センター

連合自治会・校区民児協

防災士連絡協議会

運営協議会

〔 防災資機材 仕出し用大釜 発電機等
非常食備蓄 園の予算枠内で準備 〕

万一の場合、地域への貸し出し可能

- 避難者 災害時要配慮者を優先
- 要配慮者名簿の作成
- 避難期間の設定
- 避難場所の整備（園側ですべて実施）
- 要配慮者の名簿見直し（1回／年）

清静園全景



5階 大広間



コロナ対策(大広間内部)



大広間内部(談話室)



避難者の弁 「快適に過ごせたよ!(^ ^)！」

園理事長の温情溢れる配慮に感謝

今後の進め方

1. 住民個々の「避難」を考える。
研修会の実施（各自治区単位）
ご近所、我が家の安全な場所の設定
早目の避難が出来る体制づくり。
2. 自治会長・各種団体役員・地域づくり協議会役員合同の防災研修会
3. 自治区相互の連絡体制の強化
4. 避難行動要支援者個別計画の見直し
（校区社協。民児協、防災士協議会）